

数学 I

2 年商業科

教科	数学	科目	数学 I	単位数	2	教科書名 (発行所)	新 高校の数学 I (数研出版)
1 学習の到達目標							
図形と計量、集合と命題、データの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	数学 I についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		三角比や命題の知識を応用し、社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して計算等を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の仕方	単元テストや校内学習到達度テストで、知識・技能の定着状況を評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 授業への取組状況を評価する。		単元テストや校内学習到達度テストで、思考・判断・表現について評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 課題の内容を評価する。 授業への取組状況を評価する。		課題や週末課題、長期休業中の課題の提出状況や取組を評価する。 授業でのグループワークや課題研究への取組状況を評価する。 単元ごとに行う自己評価を参考にする。		

数学 A

2 年スポーツ健康

教科	数学	科目	数学 A	単位数	2	教科書名 (発行所)	最新 数学 A (数研出版)
1 学習の到達目標							
図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の仕方	校内学習到達度テストで、知識・技能の定着状況を評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 授業への取組状況を評価する。		校内学習到達度テストで、思考・判断・表現について評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 課題の内容を評価する。 授業への取組状況を評価する。		課題や週末課題、長期休業中の課題の提出状況や取組を評価する。 単元ごとに行う自己評価を参考にする。		

数学Ⅱ

2 年理数、人文Ⅰ、Ⅱ

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	4	教科書名(発行所)	新編 数学Ⅱ (数研出版)
1 学習の到達目標							
図形と方程式、いろいろな関数や微分および積分ついて、その基本的な概念を理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。また、社会においてそれらの数学的な考え方がどのように利用されているかを理解し、数学のよさを認識できるようにするとともに、その知識等を活用しようとする態度を育てる。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	図形と方程式、いろいろな関数および微分と積分における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。		数学的活動を通して、図形と方程式、いろいろな関数および微分と積分における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることができる。		数学的活動を通して、図形と方程式、いろいろな関数および微分と積分における考え方に興味をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを社会的な事象の考察に活用したり、自ら問題を考えたりして、理解を深められている。		
評価の仕方	単元テストや校内学習到達度テストで、知識・技能の定着状況を評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 授業への取組状況を評価する。		単元テストや校内学習到達度テストで、思考・判断・表現について評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 課題の内容を評価する。 授業への取組状況を評価する。		課題や週末課題、長期休業中の課題の提出状況や取組を評価する。 授業でのグループワークや課題研究への取組状況を評価する。 単元ごとに行う自己評価を参考にする。		

2 年生活文化

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	3	教科書名(発行所)	最新 数学Ⅱ (数研出版)
1 学習の到達目標							
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察したりする力を養う。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の仕方	校内学習到達度テストや授業中の確認テストなどで、知識・技能の定着状況を評価する問題を出題する。 授業中の取組状況を評価する。		校内学習到達度テストや授業中の確認テストなどで、思考・表現・判断について評価する問題を出題する。 課題の内容を評価する。 授業中の取組状況を評価する。		知識・技能、思考・表現・判断の習熟度と、週末課題や長期休業中課題の提出状況、取組状況を評価する。 単元ごとに行う自己評価を参考にする。		

数学B

2 年理数、人文 I、II

教科	数学	科目	数学B	単位数	2	教科書名(発行所)	新編 数学B (数研出版)
1 学習の到達目標							
平面上のベクトル、空間ベクトルおよび数列、確率統計について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。また、社会においてそれらの数学的な考え方がどのように利用されているかを理解し、数学のよさを認識できるようにするとともに、その知識等を活用しようとする態度を育てる。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	ベクトルや数列、統計における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。		ベクトルや数列、統計についての数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考える力を身に付けている。		数学的活動を通して、ベクトルや数列、統計に関心をもつとともに、例えば統計が社会においてどのように利用されているか、数列やベクトルの考えが科学の発展にどのように寄与したか等を理解し、それらを社会的な事象の考察に活用したり、自ら問題を考え理解を深めようとする態度を養うことができている。		
評価の仕方	単元テストや校内学習到達度テストで、知識・技能の定着状況进行评估する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 授業への取組状況を評価する。		単元テストや校内学習到達度テストで、思考・判断・表現について評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 課題の内容を評価する。 授業への取組状況を評価する。		課題や週末課題、長期休業中の課題の提出状況や取組を評価する。 授業でのグループワークや課題研究への取組状況を評価する。 単元ごとに行う自己評価を参考にする。		